

やさしい心で
良質な医療を

JA吉田総合病院

発行/広島県厚生農業協同組合連合会 吉田総合病院
〒731-0595 広島県安芸高田市吉田町吉田3666
Tel.0826-42-0636 Fax.0826-47-0007
2024年(令和6年)11月発行
https://yoshida-gene-hospi.jp

吉田総合病院 **正職員** **パート** スキルを活かして
一緒にやりがいのある仕事を♪

看護師さん募集



勤務時間

相談に応じます

日勤 8:30 ~ 17:00

夜勤(病棟) 16:30 ~ 1:00
0:30 ~ 9:00

夜勤(外来) 16:30 ~ 9:00

待遇他

- ・通勤手当支給
- ・賞与(年2回)
- ・年次有給休暇
- ・年間休日122日(R5年度実績)
- ・職員駐車場
- ・院内保育室
- ・看護師寮(5年間家賃無料)
- ・その他 慶弔見舞 など

お問い合わせ

ご不明な点はお気軽に
お問い合わせください

〒731-0595
安芸高田市吉田町吉田3666
吉田総合病院 人事課
TEL 0826-42-0636

許可病床数 255床

一般病床	111床	救急告示病院	居宅介護支援事業所
地域包括ケア	98床	労災指定病院	在宅介護支援センター
療養病床	46床	へき地医療拠点病院	日本医療機能評価機構認定病院 (3rdG:Ver2.0)

求人案内の詳細は
こちらから▼



外来ボランティア募集

活動場所 1階外来・玄関・受付

活動時間 平日 9時から12時
(活動時間についてはご相談下さい)

- 活動内容
- 玄関での車の乗降介助
 - シルバーカー・車椅子の移送介助
 - 各外来・検査への案内
 - 車椅子・シルバーカーの清掃
 - 総合受付での手続きの介助
 - 花壇の管理 など



未経験者の方も
大歓迎です!

あなたの知識や技術をお貸しください!!

JA吉田総合病院 医療福祉支援センター TEL 0826-42-0636

医療福祉支援センター

センター長新任あいさつ



医療福祉支援センター長の宮田でございます。
当センターは、2023年4月に地域医療連携室、入退院支援室、患者相談窓口を一体化する形で開設されました。窓口が一本化したことで、「困ったことがあれば医療福祉支援センター」と院内外の皆様に解りやすくなりました。その業務は、紹介予約受付(医療連携)、入退院支援、介護・福祉への橋渡し、広報、その他多種多様な相談など多岐に及んでいます。

昨今、医療福祉支援センター(もしくはそれに類似する部門)は全国どんな医療機関にも必須であり存在しているはずですが、行っている業務は一律ではありません。

それは、

- 医療機関:病院・診療所
- 介護施設:介護老人保健施設・介護医療院・グループホーム・サ高住・デイサービスなど
- 福祉:行政の取り組み・社協・民生委員・町内会・講中など共助の存在
- 地域特性:人口・人口分布・都市との距離

これらは地域によって大きく異なり、それぞれの地域に応じて考えて行かなければならないからです。国も以前からこういった取り組みを「地域包括ケアシステム」と呼称し、準備するように各自治体に通達しておりました。

当地域だけの問題ではありませんが、高齢化を通り越し、人口減少時代が到来した現在、医療、介護施設、地域・家庭での労働力が不足し、高まる高齢者の医療・介護ニーズに十分対応できない事態となってきております。これは、全国的な問題であり、他の地域に頼ることも難しく、地域の皆様と知恵を絞っていかねばなりません。

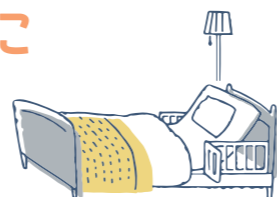
当センターは、前身の地域医療連携室であった頃から、地域の開業医の先生方、近隣の高次医療機関、介護施設の方々、社協、行政と密に連携してきた実績があり、十分に相互のコミュニケーションを図っております。

患者さん・家族の個々の事情も、病状や状況により大きく異なりますので、院内スタッフ、近隣医院・施設の皆様と引き続き連携していきながら、皆様ひとり一人に寄り添った支援を提供して参りたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。いつでも気軽に医療福祉支援センターにご相談ください。



安心して治療を受けられるように 入院前からサポートします

～入退院支援看護師の紹介～



医療福祉支援センターにある「入退院支援室」には、看護師4名と事務スタッフ1名が所属しています。私たちの主な業務は、入院時の支援です。入院には、

- ①手術などを目的とした予定入院
- ②救急車で搬送された方や体調不良で受診された方が急に入院治療となった場合の緊急入院
- ③急性期の病院で手術や治療をおこなった後の転院があります。その3つの状況における入退院支援看護師の関りについてご紹介します。

入退院支援室 秋広直子

1 予定入院

主に手術が決定した患者さんの入院準備段階で、外来受診からサポートを行っています。入院から退院までスムーズに経過するように、医師や薬剤師からの説明場面でのサポート、入院中のスケジュール説明などを行います。毎月50名以上にそれぞれ2回～3回お話を伺う時間を設けていますので、入院で不安なことは何でもお尋ねください。入院費のこと、食事のこと、リハビリのこと、手術室のこと、それぞれの部門と連携して安心・安全な入院治療へつなげます。

予定入院数が最も多い疾患は、整形外科の「変形性膝関節症」です。県内初のロボットを活用した手術を受けた患者さんからは、「膝が楽になった」とうれしい言葉を頂いています。

2 緊急入院

当院では予定入院よりも緊急で入院される患者さんが多いという現状があります。体調を崩して診察を受け「今から入院して治療しましょう」と伝えられたら、患者さんもお家族も戸惑いと不安が大きくなります。その状況も踏まえて、気持ちに寄り添いながら患者さんとお家族を支援しています。具体的には入院前の検査や医師からの病状説明の同席、入院に必要な書類や準備物の説明、生活状況の問診や入院後のスケジュール説明などを行います。また、治療を終えた後のことを視野に入れて、早期にソーシャルワーカーやケアマネジャーと連携して退院支援を行います。体調がすぐれず辛い患者さんが、スムーズに入院治療を受けられて、元気に退院日を迎えられる時は、この上ない喜びを感じます。

3 転院

当院では対応できない治療が必要な場合は、近隣の急性期病院へご紹介しています。急性期病院での治療を終えられた患者さんが自宅へ退院するまでに、もう少し治療やリハビリが必要な場合には当院へ転院の依頼があります。出来るだけ迅速に受け入れるように調整させていただきます。

紹介元の病院との連携を密にして、残りの治療を引き継ぎます。医師や看護師だけでなく、相談員、管理栄養士や理学療法士や薬剤師など多職種と情報を共有しながら、当院での療養生活が終了した後のことも一緒に考えます。住み慣れた地域で安心して過ごせるように、サポートして参ります。

ミニ市民公開講座 開催報告

7月27日(土)安芸高田市民文化センターにおいてミニ市民公開講座を開催しました。ミニ市民公開講座は、安芸高田市在宅医療・介護連携推進事業の一つとして、市民の皆様が住み慣れた地域で自分らしい生活を継続できるよう地域における医療・介護の関係機関が連携すること、また地域住民の方への普及啓発により、在宅医療・介護の理解を促進することを目的として開催しています。開催当日は猛暑日となり、来場者数が気になるどころでしたが、67名の方にご来場いただきました。皆さん、メモをとりながら熱心に聴講されておられる姿がとても印象的でした。今年の11月16日(土)には、市民公開講座、来年2月にはミニ市民公開講座を開催予定としております。地域のニーズに合わせたテーマで企画していきますので、皆様お誘いあわせのうえ、ご来場ください!

今回のテーマは「人生100年時代を健やかに生き抜くために」

講演1 「女性のヘルスケア」～元気で長生きするために～ …… 吉田総合病院 婦人科 岩沖 靖久医師

講演2 「いきいき元気な私を続けるための食事のコツ」 …… 吉田総合病院 河本 良美栄養科長



院内学会 開催報告



第54回院内学会は医師、看護師、薬剤師から4題の発表がありました。ポリファーマシーについて薬剤師が工夫されている点や、入退院支援看護師の役割について理解することができました。また、感染向上加算の取り組み、院内感染の水痘感染症の発表があり、対策や治療について学ぶことができました。質疑応答も活発に行われ、有意義な院内学会になりました。特に入退院支援看護師の介入があることで外来や病棟看護師の負担軽減に繋がっていることが分かり、色々な部署が協力することで医療が成り立っていると感じました。次回の院内学会は2月の開催予定です。

